



令和5年1月26日

第71号

さくほ

2023 ①

議会だより



相生区拝賀式と 獅子舞

12月定例会

令和4年度一般会計補正予算 ほか …… P2.3

一般質問 8名

「大豆栽培と特産品で荒廃農地解消」
「インボイス制度に町はどうか」 ほか …… P4~9

令和4年度佐久穂町議会 常任委員会合同視察研修

道の駅 越前おおの 荒島の郷 …… P12.13

議会改革特別委員会報告

町民との意見交換会 …… P14.15



さくほ議会 Facebookもチェック

さくほ議会

令和4年度一般会計補正予算（補正第8号）

歳入歳出にそれぞれ3億6188万円を追加し、**歳入歳出の総額を97億2179万円**とする補正予算が可決されました。

●主な歳入の増額

ふるさと納税寄付金……………1500万円
 基金繰入金……………2億円（うち公共施設等整備基金から1億6000万円を取り崩し）
 町債……………1億5670万円（うち過疎対策事業債 1億5000万円）

●主な歳出の増額

奥村土牛記念美術館耐震化事業……………3億1625万円
 道の駅整備事業……………1089万円（駐車場整備の町追加分、新取得用地整備）
 町単道路維持改良事業……………1377万円
 街灯管理経費……………1147万円
 電気料金等の高騰による増額……………役場庁舎220万円 小中学校550万円 茂来館473万円等

その他 注目の議決事項

佐久穂町職員の定年を60歳から65歳に段階的に引き上げることにともなう
 さまざまな条例の制定・制度改廃

教育関係の寄付金を利用しやすくするため、
 佐久穂町積立基金条例を改定して「佐久穂町ふるさと応援寄付金基金」を追加

令和4年10月臨時会（10月13日）

●主な歳入の増額

国庫補助金……………6142万円（電力ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金）
 県補助金……………729万円（国の支援対象者とならない生活困窮者に県が行う支援事業）

●主な歳出の増額

緊急支援給付金……………6871万円
 八千穂庁舎一部解体工事費……………1477万円

令和4年11月臨時会（11月4日）

●主な歳入の増額

基金繰入金……………4900万円（公共施設等整備基金から取り崩し）

●主な歳出の増額

北庁舎改修工事……………4950万円（南佐久町村会事務局入居、アスベスト除去費用など）

●議員発議により「道の駅事業特別委員会」の設置が議決されました。

令和4年 12月定例会

町長招集挨拶 ピックアップ

12月3日の夕方、国道141号と299号が交差する清水町交差点で、佐久穂町商工会女性部主催によるイルミネーションの点灯式がありました。暗闇を照らす光は不思議と安心感やわくわく感を醸し出します。南佐久の出入口のこの地に灯された光を見て、佐久穂町商工会の皆さまが南佐久郡に寄せる強い思いを感じました。



町立千曲病院では佐久地域の医療崩壊を防ぐための広域連携対策として、コロナ病床を2床から10床に増床し、病院全体で感染症シフトを組んでいます。これは町立千曲病院だから早期にできたことだと考えています。

道の駅整備事業では、10月31日のプロポーザル審査において応募3事業者の中から、優先交渉権者として畑八開発株式会社とアドバンス株式会社の共同企業体が選定されました。今後、施設建設と運営を合わせて担っていただきます。議会の皆さまとも情報共有を図っていきます。

住民税務課：マイナンバーカードの普及は12月4日現在、累計5178枚で、普及率が7月末の33.8%から49.3%に急増しています。これは促進対策として経済対策チケット1冊を交付した効果の表れだと考えています。国からの地方交付税額の算定に普及率が加味されますので、さらなる普及に取り組んでいきます。

産業振興課：11月5日から販売開始の「佐久穂町経済対策チケット2022」は、11月25日現在、2512世帯、5730人で54%の方が購入されました。物価上昇による生活費逼迫を緩和する一助になっていると考えています。冬に向けてこれから購入される方も多く、地域経済の活性化に一層の効果があると期待しています。

請願・陳情

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	採決結果
議員氏名	岡部 尚樹	須田 芳明	高見澤 敏幸	竹内 達朗	高見澤 利博	佐々木 信幸	西部 元和	島崎 規子	出浦 修身	高橋 康徳	高見澤 研二	小宮山 雅則	高見澤 春野	採決結果
請願第2号 消費税インボイス制度延期を求める請願	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
陳情第2号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
陳情第3号 最低制限価格の設定に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採 択
陳情第4号 免税軽油制度の継続を求める陳情書	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	採 択
陳情第5号 要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行すること等についての意見提出に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	採 択
発委第1号 消費税インボイス制度延期を求める意見書	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
発委第2号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
発委第3号 免税軽油制度の継続を求める意見書	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可 決
発委第4号 第9期介護保険制度改正に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可 決

これ以外の議案はすべて全員賛成で可決となりました。

一般質問

12月定例会 (令和4年12月8・9日)

定例会において、地方議員は自治体の施策の状況や方針などについて、通告をした上で質問をすることができます。

健康寿命の延伸を目指して

町長「健康で暮らしていただくことは、町としても喜びであり、願ひであります。」
高見澤 利博 議員

住宅リフォームに補助金を

町長「個人資産への公的資金投入は難しいと思います。」
佐々木 信幸 議員

将来の交通体系をどう考えるか

町長「げんでる号の大幅変更はありません。」
竹内 達朗 議員

直売所への参入支援や増産対策は

町長「特産品の生産拡大、開発あるいは農家の事業継承等を推進します。」
出浦 修身 議員

指定文化財の指定基準を明確に

教育長「今後は指定基準を策定し公布します。」
高見澤 春野 議員

観光ビジョンにおける民間事業者との連携は

町長「事業者の顧客やファンを点でなく面でもてなすなど観光ビジョンを大切にします。」
須田 芳明 議員

大豆栽培と特産品で荒廃農地解消

町長「農業者の減少や高齢化の中、町主体での産地化はハードルが非常に高いと考えています。」
島崎 規子 議員

インボイス制度に町はどう対応するのか

町長「町も適格請求書等の交付に対応していきます。」
小宮山 雅則 議員

健康寿命の延伸を目指して



町長 健康で暮らしていただくことは、町としても喜びであり、願ひであります。

高見澤 利博

帯状疱疹予防接種の周知について

問 町としては、帯状疱疹ワクチンの周知と推進はなされているのか。

町長 3大疾患をベースに生活習慣病である糖尿病やそれ

に伴う肝機能疾患などを中心に周知、啓発を行っております。健康福祉課長 予防接種には、法律の定める定期接種と、定めのない任意接種があり、帯状疱疹ワクチンは任意接種であることから、周知はしておりません。



千曲病院内掲示板

助成を実施している市町村は2自治体のみです。今後も総合的に近隣町村の状況を見ながら検討していきます。

GIGAスクール構想について

問 学校のICT環境整備の状況は。

教育長 新型コロナウイルスの感染拡大により、令和5年度予定から大幅に前倒しされ、令和2年度に1人1台のタブレット貸与は完了しました。さらに固定式プロジェクターが26台、移動式が6台、電子黒板が6台ございます。

問 指導力向上の取り組み

みと情報教育の充実について。教育長 ICT支援員やICT研究部会のアドバイスを受けながら創意工夫して効果的に、改善を図っています。

大切さを学んでいます。

福祉行政について

問 ヘルプマークの周知について。

町長 町の交付状況は、これまで23個となっており、決して多い状況ではありません。広く浸透し日常生活で援助や配慮

を受けやすくするためにも、さらなる周知が必要と考えます。

問 プレコンセプション(妊娠前)ケアの取り組みは。

健康福祉課長 町では、計画での体制は取っておりません。保育保健、医療全般としましては、妊娠前から出産、産後子育てに至るまでの体制を整備し、子育て

包括支援センターを中心として、取り組んでおります。

問 「健やか21」の支援について。

町長 母子健康の主要な取り組みを提示するビジョンであり、関係機関、団体が一体となつてその達成に向けて、取り組む課題等が設定されています。学

童期・思春期から成人期に向けた保健対策の指標が①健康水準で6個②健康行動で3個③環境整備で2個示されており、個々の状況に応じて関連部署や関連機関等と連携して支援を行っております。

住宅リフォームに補助金を



町長 個人資産への公的資金投入は難しいと思います。

佐々木 信幸

奨学金返済支援補助金の内容について

問 町では、佐久穂町在住で奨学金を返済している人を対象に返済の一部を補助する制度を今年度から始めたが、町内に就職した人は年間上限額20万円、佐久広域で働く人は15万円、医療介護関係は町内でも佐久広域でも関係なく22万5千円となっている。町内への就職者は将来の町の産業の担い手として期待される訳で、広域管内への就職

者より厚遇されるのは当然だと思うが、ならば医療介護関係も同様であるべき。しかし、そもそもなぜ職業で分けるのか。上級学校で学んだ内容で補助額に差をつけるのは望ましくない。I・Uターンを考える学生を町は等しく応援するというメッセージを込めて、制度を見直すべきではないか。

教育長 この制度は自治体独自の取り組みを政府が後押しする形で推進され、全国市町村の35・3%で実施されています。

空き家等の対策について

問 空き家バンクの登録物件が少ない中、町内に空き家を再生し販売するプロ集団を立ち上げようという動きがあり、一歩踏み込んだ空き家の活用として期待しているが、町でも支援をお願いしたい。また、空き家を作らないためには新築だけでなく、母屋を改築して2世代で住むなどのリフォームも有効手段と考えるが、それを促すための「リフォーム補助金」の考えはないか。人口減少の今日、将来に問題を発生させないため

業種についての条件を定めている自治体は約3割。佐久穂町は制度を創設した当時、医療介護の人員不足のため、この条件を付けましたが、議員のご指摘を踏まえ見直しを図っていきたいと考えています。

に今備えるのが政治ではないか。町長 官だけではできないことはたくさんあり、空き家再生の取り組みは非常にいいことで、何らかの支援方法もあるのかなと思います。住宅は個人資産ですから、そこに公的資金を投入することは、自治体の原則と施策のバランスが非常に重要となります。また、財源の確保が重要で、使用する財源をどこから持ってくるのか、国の制度のどの部分を使って財源を絞り出してくるのか、国の施策を見据えながら、そこからどんな財源を引き出してこれるのかを考えています。町の住宅施策はこの数年間に新たにいろいろなものを作ってきました。その施策の効果を検証しながら優先順位もつけて、財源をどうしていくかという問題を考えるのが、私は政治だと思っています。



さくほde暮らしすホームページ



ホームページ QRコード

将来の交通体系を どう考えるか

竹内 達朗



町長 げんでる号の大幅変更はありませぬ。

げんでる号の 運行見直しの考えは

問 小海線の存続について、町としての行動と対策をどう考えるか。「げんでる号」の今後について、土日や夜間の運行を含めて見直しの考えは。福祉タクシートの利用の実態は。運転免許証返納促進として、デマンドタクシーエリア内も含めた大日向1区のような移動支援についての考えは。道の駅建設に

伴っての新たな交通体系についての考えは。交通安全対策として特に東町でのマーケット開催時の注意喚起策は。自転車を活かせるまちづくりは。



小海線

独自の交通弱者対策として大日向1区のような生活支援ボランティアのシステムには期待しています。道の駅建設に伴う交通体系については調査に取り掛かっています。

町長 小海線の存続については、佐久地域振興局長の考えと同様、高校生の通学、病院への通院など非常に貴重な線で存続していただきたいと考えています。げんでる号は民間事業とのすみわけもあり、大幅な変更は考えていませんが、車両の小型化は可能性があります。地域

健康福祉課長 福祉タクシートの制度について民生児童委員の皆さまへも説明していきます。

総務課長 運転免許自主返納制度の周知に努め、げんでる号運行エリア外の方にはタクシードライバーを配布しています。1万5千円分を配布しています。イベント開催時の安全対策には主催者に義務があると考えています。SDGs推進を考えると自転車の利用は有効です。しかし、町の道路事情や環境からその整備にはコストがかかり過ぎ、優

問 町長の委嘱を受けた6名が集落の地理や歴史を調べながら聞き取りをしています。今後、冊子にまとめたいと考えています。来年度も継続の予定で

問 地域の文化や伝承を記録することは大切だが、社会教育の面もあるのではないかと。教育委員会との調整が必要ではないか。また、来以降の継続は。

町長 650万円と少ないが。

直売所への参入支援や 増産対策は

出浦 修身



町長 特産品の生産拡大、開発あるいは農家の事業継承等を推進します。

問 本年度の町の重点施策として実施してきた若者の移住・定住を促進する各住宅政策の進捗状況は。

町長 新規・拡充事業の民間事業者が行う宅地造成、賃貸住宅事業の助成制度では、何件かの相談は来ていますが、宅地造成は農地法や銀行融資など時

建設課長 住宅建設は暖かい時期に基礎を打ち新年に完成・入居が多く、最終的には前年並みの実績が見込まれます。

指定文化財の 指定基準を明確に

高見澤 春野



教育長 今後は指定基準を策定し公布します。

県道川上佐久線の整備計画

問 正式なルート決定はされたのか。

建設課長 正式決定前の一本化されたルート案を修正し、6月に関係地区で説明会を開催しました。今後の正式ルート決定に向けて出された意見の調整を重ねていくものです。

問 用地取得の状況は。

建設課長 用地取得の状況は八千穂地区かわまち

建設課長 八千穂地区かわまち

問 八千穂地区かわまち

建設課長 八千穂地区かわまち

問 八千穂地区かわまち

建設課長 八千穂地区かわまち

問 八千穂地区かわまち

建設課長 昨年度に解体助成など制度改正をしたところなので、3年間の成果を検証したうえで検討します。

問 空き家対策も年々実績を上げているが、さらに検討していることは。

建設課長 相續登記が義務化されるので、さらに進められると思います。

問 道の駅に設置する農産物直売所は、20分圏内に多くの競合施設があるが、出荷者の確保、まちの駅との両立、そして



子どもセンターさくほっこ

町長 生産者の確保は指定管理者が行い運営します。町内の農産物直売所が2カ所となりますが、2つの直売所が協力し合うための必要な支援があれば検討します。また、道の駅に特化した施策ではなく、特産品の生産拡大、開発あるいは農家の事業継承等を推進して行きます。

指定文化財の 指定基準を明確に

高見澤 春野



教育長 今後は指定基準を策定し公布します。

文化財の登録・管理・保護

問 指定文化財と指定される基準が曖昧なので明確な基準が必要では。

建設課長 旧八千穂中学校以南の計画は詳細なルート検討をしていない段階です。町道上畑天神町線に海瀬バイパスが接続した効果を充分発揮するため、羽黒山トンネルから海瀬バイパスまでの延伸計画について、県の予算計上へ働きかけを強めていきます。同時にかわまちづくり計画についても将来的に県道が接続することを意識した計画としていくことも必要と考えます。令和9年度目標のかわまちづくり計画に県道整備が間に合うかは厳しいとの認識です。

問 文化財の説明板は景観上統一化を図るべきでは。

教育長 今後設置する説明板については統一したものになる

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板

建設課長 今後設置する説明板



文化財説明板

観光ビジョンにおける 民間事業者との連携は

須田 芳明

町長 事業者の顧客やファンを点でなく面でもてなすなど観光ビジョンを大切にします。

学校跡地の 運用方針について

問 旧八千穂小学校跡地の運用を急ぎよ賃付から公募に変更した理由は。

総務課長 賃付希望があった学校法人との条件が合わず、利活用提案型の公募がふさわしいとの判断から変更しました。

問 公募がない場合どうするのか。

総務課長 更地にして売却も検討しなければならぬと考えま

観光施設の 運用方針について

問 町の思い描く観光ビジョンの中で、各観光施設をどのような形にし、どのような役割を持たせるべきだと考えているか。

町長 観光施設ごとに、来訪者のサービス満足度の向上を図り、また訪れたいと思ってもらえるような時間を過ごしていただけるよう努めていく所存です。

問 八千穂高原の旧ガソリンスタンドの賃付経過と展望は。

総務課長 今年の1月に、クラフトビル工場開業ということと契約となりました。物流等の遅れにより、開業が遅れているようです。

産業振興課長 ビール工場が軌道に乗った時点では、ホップを地元産の産物として生産し、障害者福祉施設に収穫依頼をするなど、農福連携についても検討しているようです。

問 道の駅をつくる中で、他事業者と連携していく必要があると思うか。

産業振興課長 観光協会等に参加していただいて、より一層の宣伝等、周辺地区の皆さんとも連携をしていただきたいと考えています。

問 八千穂高原の水力発電施設事業者にどのような役割を期待するか。

総合政策課長 令和7年の稼働を目指しています。農業用水を活用した自然エネルギーによる発電は、八千穂高原一帯の魅力や活性化の一つになると思います。

問 府中市保養所施設は令和5年4月以降の運用が決まらないとのことだが。

産業振興課長 今後、府中市において、民間事業者と譲渡に向けての事業選定等の協議・検討が行われる場合には、町も現在同様、連携をしていきたいと思えます。

問 指定管理した駒出池キャンプ場の在り方は。

産業振興課長 自然園など周辺の観光施設、観光事業者との連携を図ります。



八千穂サウナ

問 キャンプ場同様に連携したいと思えます。

問 道の駅に出店予定のモンベルのアウトドアショップ事業の方向性について。

総合政策課長 必要に応じてモンベルにも協議に参加してもらう形で、しっかりと町の方向性を伝えていきたいと思えます。

大豆栽培と特産品で 荒廃農地解消

島崎 規子

町長 農業者の減少や高齢化の中で、町主体での産地化はハードルが非常に高いと考えています。

大豆を使った 特産品開発の考えは

問 現在、当町の荒廃農地は、水田と畑地を合わせて511haにも及ぶ。国では主に穀物の国産化定着支援、産地づくり体制構築等の支援に対する予算を大きく計上している。この

支援体制も活用し、大豆の産地化推進の考えはないか。

町長 町の現施策である「水田活用直接支払い交付金」を中心に支援を考えています。農家の減少・高齢化の中で、町主体での産地化は非常にハードルが高いと考えます。

問 特産品開発に取り組みたいグループや団体と、さまざまな知識や情報を持つ既存業者との連携推進を町が支援する考えは。

町長 食品加工業者にとつ

て必要な材料を継続して確保できることが一番重要となります。JAや生産者が面で連携できるよう検討していきます。

また、特産品開発を行う民間事業者やグループ等に対し、可能な範囲で開発支援を考えています。

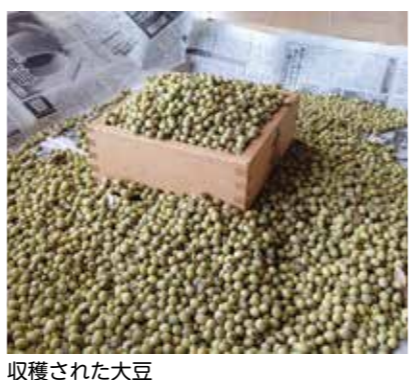
問 具体的な支援内容は。

産業振興課長 商品開発経費の一部補助として、機械装置・成分検査・パッケージデザイン・宣伝・原材料等を考えています。

また、これから検討をする中で人材派遣等についても、商品開発の一部の支援として考えていくところです。

問 四ツ谷農産物加工所を商品開発や製造場所として、貸与あるいは譲渡等の考えは。

町長 借地ということもありますし、継続して製造販売をしてお金を稼ぐのであれば、町有施設ではなく町空き店舗等を活用していただけたらと思います。



収穫された大豆

インボイス制度に 町はどう対応するのか

小宮山 雅則

町長 町も適格請求書等の交付に対応していきます。

インボイス制度に対する 町の対応

問 令和5年10月1日からインボイス制度が施行されるが町の対応は。

町長 現在、町が消費税の納税義務者に交付している請求書等では、納税義務者は仕入税額控除ができなくなりますが、町も適格請求書等の交付に対応していきます。適格請求書を交付するためには、所管する税務

署に、適格請求書発行事業者の登録をする必要があります。一般会計は、登録済みです。

問 消費税免税事業者からの仕入れは、今までと変わりの仕入れは、今までと変わらないものとするのか。

総務課長 一般会計では、消費税の申告義務が免除されていますので、免税事業者と納税事業者と分けて扱うことはありません。今までと同様と考えています。

建設課長 簡易水道と農業集落

公営企業会計の 導入について

問 令和5年度から農業集落排水事業、簡易水道事業等が公営企業会計に移行となるが、どのような形になるのか。

町長 平成31年1月に人口3万人未満の市町村についても、農業集落排水を含む下水道事業及び簡易水道事業の公営企業会計の適用が義務づけられました。国は地方公営企業に対し、持続可能な経営を確保するために、経営の見える化による経営基盤の強化が必要との判断のもと、

問 公営企業会計の導入により、適正料金による事業の自立が求められることが予測されるが、町はどう受け止めているのか。

建設課長 当町の農業集落排水事業及び簡易水道事業は、公共下水道や上水道に接続できない遠隔地であり、かつ小規模であるため適正料金の設定による自立は困難であります。採算がとれないといった事業をやめたり、大幅に料金を上げてしまつようなことはできません。公営企業会計に移行しても、一般会計が

らの繰り入れや借り入れは可能ですので、経営の効率化を意識しつつ運営をしていきます。



筆岩簡易水道施設

経済福祉常任委員会

議案11件、陳情4件が付託され、原案通り、可決・採択すべきものと決しました。

建設課

● 町の簡易水道事業の地方公営企業法財務基準適用に伴う条例の条文についての説明

問 負担付きの寄附又は贈与とは何か。

答 負担という何か負担が発生するように思われますが、「こういうことに使ってください」などの条件がつく寄附のことです。

● 道の駅に対する県の補助金についての説明

問 町の負担割合が増えているが、その経過を知りたい。

答 道の駅の駐車場については、町：県の負担割合を50：50で算定しましたが、県が最新のパーキングエリア基準を採用したため、町：県の割合が80：20と決定されました。地域振興施設やアウトドア施設の駐車台数は町に算定されます。



道の駅建設予定地

産業振興課

● 有機農業への補助金についての説明

問 補正予算で有機農業への補助金を増額しているが、町内での有機農業に取り組む事業者は何人か。

答 この補助金は個人では補助の対象とならず、3人以上の農業者の組織への補助金となり、現在対象事業者は3団体です。

問 有機農業への補助金を受けるにはグループを作れば対象になるか。

答 そうなります。手続きの詳細は、産業振興課農政係に確認してください。

千曲病院

● 病床の稼働率についての説明

問 現状の病床稼働率は。

答 感染症拡大により現在、佐久地域の医療が崩壊に近い状態にあり、千曲病院ではコロナ病床を2床から10床にふやすため一般病床を5床休床し、現在92床で稼働しています。今日現在でコロナ病床は9床が埋まり、全体の病床も80%の稼働で、日によっては90%もあり、懸命の対応努力中です。

● MRIについての説明

問 9月の補正予算で設置が決まったMRIの設置事業の進行状況は。

答 半導体不足やコロナ禍の影響を受けて、遅れておりましたが、1月より工事に入り、3月中の稼働を予定しております。
それに併せて、院内でもプロジェクトチームを立ち上げ、安全対策や患者さんへの説明など職員の研修作業を進めているところです。

健康福祉課

● 介護保険事業のサービス事業費についての説明

問 全体的に介護保険事業のサービス事業費が減少しているが、その理由は。

答 コロナの影響も多少あったと思いますが、4月から9月までの要介護の新規認定者が57人に対し、離脱者（死亡者）が60人のほか、重度の介護認定者が亡くなったこと等から、介護サービス費の単価の違いが影響しています。

また、デイサービス等の通所者の中で、陽性者が出たため、その施設が一時利用休止になったことも影響していると思います。

● 令和4年度介護保険特別会計補正予算についての説明

問 9月の補正で3800万円を増額し、12月補正で5000万円を減額した理由は。

答 9月の補正は、前年度決算により精算となった国庫補助金の返還にかかる増額で、12月の補正は上期の実績からの事業費減少に関する減額です。



老人保健施設さやかの活動の様子

委員会活動から～委員会審査～

総務文教常任委員会

議案20件、請願1件が付託され、原案通り、可決・採択すべきものと決しました。

令和4年度 佐久穂町一般会計補正予算

総務課

歳入

● 町有地売払収入……………188万円増

問 土地の所在地は。また見込みはあるのか。

答 八千穂保育園付近の旧教員住宅跡地1区画で契約まで完了しています。

歳出

● 備品購入費（庁用自動車購入）……………241万円減

問 多額の入札差金が発生した理由は。

答 当初予定よりランクを下げた車両を購入しました。

総合政策課

歳入

● ふるさと納税寄付金……………1500万円増

歳出

● ふるさと納税事業（報償品費他）……………710万円増

問 事業が好調に推移しているが原因等を分析しているか。

答 サイトを増やしました。また、返礼品として夏場の果実・八千穂漁業さんの冷凍品などが増えています。他の業者の皆さんも商品を増やすなどのご協力をいただいているためです。



奥村土牛記念美術館

総合政策課・生涯学習課

〈奥村土牛記念美術館事業〉

歳入

● 過疎対策事業債……………1億5000万円

● 公共事業等整備基金取り崩し……………1億6000万円

歳出

● 測量設計委託料……………1925万円増

● 工事請負費……………2億9700万円増

問 本来であれば当初予算として計上される予算額が補正として計上された理由は。

答 当初は来年度の事業としていましたが、来年度は道の駅事業が始まるため、大きな起債が重ならないように美術館事業を前倒しして、本年度分としての過疎対策事業債の配分協議を要望しました。協議の要件に予算に計上されていることが大原則になるため、今回の補正予算に計上しました。

問 耐震工事とのことであるが、どのような工事を予定しているのか。

答 実施設計もできていないため総額でお示しすることしかできません。床の下足化は図ります。

問 工事期間が10カ月との説明であったが、工事期間中の美術品の保管場所はどのようにするのか。

答 現在、保管場所としている土蔵に全部収納する予定です。

問 美術品を一年近く公開しないままにしておく予定なのか？

答 公開に向け前向きに考えていきます。

問 建物が町の文化財として保存されているが、工事をする中で文化財としての価値に影響はないのか。

答 文化財の指定を外さないように工事を進めます。

視察研修(後)

私はこう考える!! (仮称)道の駅 八千穂高原IC

岡部 尚樹 議員

今、道の駅必要ですか？
この言葉から始めたのは、私が視察研修に行ってきたことがあったので書きました。
現在世の中は、物価高騰、燃料・電気・ガス・水道料等、数多くの高騰であります。
特に資材の高騰が一番の問題点ではないでしょうか。道の駅について、よくよく協議していかなければいけない時期ではないでしょうか。

須田 芳明 議員

【道の駅事業、小さくてもきらりと光る町づくりを目指して】
佐久穂町における一大事業である道の駅は、町民の皆さまとともに考え、町民本位の施設として作り上げていくべきであると思います。
佐久穂町の多様な資源、農工商が連携した物販等・交流促進施設は道の駅の核であり、直売所、フードコートは佐久穂町の特産を最大限にアピールする場所でもあります。
私が見た直売施設のなかで、群馬県の川場田園プラザ、河口湖の旅の駅、大野市荒島の郷は地域のニーズに応えたい施設だと思います。それはまた、町民の皆さまのよりどころとして愛され、コミュニティを醸成する施設でもあります。
より良い郷土づくり、未来に誇れる町づくりに向け、町民の皆さまとともに活動し、「佐久穂町らしい日本一の道の駅」ができることを期待します。

高見澤 敏幸 議員

道の駅「越前おおの 荒島の郷」を訪れ、まず敷地面積5ha、延べ床面積5000㎡というそのスケールの大きさに目を奪われました。
地域振興施設では
①「産直の会」が結成されており、市内に2つある道の駅のどちらでも同じ登録番号で出荷が可能であり、出荷者の判断で自由に店舗が選択できる。
②地元特産品を利用したこの道の駅でしか入手できない名物を開発し、駅内で製造販売をしている。
③市内の障がい者施設に清掃業務を委託し、社会での就業経験の場を提供している。
など多くの特色ある取り組みがなされていました。いずれも準備に数年を要したとの説明があり納得し、成功・繁栄への道のりは長いと感じました。

竹内 達朗 議員

道の駅の話が出たときには、トイレと休憩所などごく簡単なイメージを抱いていました。この7月に基本計画が示されると本格的な「道の駅」の構想となっていて、正直びっくりしたところです。異議を唱えることも考えましたが、町の本気の姿勢を考え、建設計画に同意し、町の経済発展に資するように自分なりに努力していこうと考えたところです。
民間事業者による管理・運営となりますが、町の観光事業をはじめとして、産業の発展につながるように住民の皆さまの意見も聞きながら巨額の投資を生かしていきたいと思っています。

高見澤 利博 議員

道の駅「越前おおの 荒島の郷」に視察をさせていただき、お話を伺ってきました。スタイリッシュで、規模も大きく開駅1年間で75万人を超える来店者があり、コロナ禍の状況でなぜここまで伸びたのか？そこにはさまざまな戦略が見え隠れしていました。地元で暮らす人々が、どうやって地域を盛り上げるべきか、皆で考え取り組んでおり、地元の方々とともに地元で愛される道の駅を掲げ進んでいると思いました。また、観光運営にも回遊性の向上を図っており、観光スポットや体験会場などに誘導していました。さらに九頭竜川を水源とする豊かな湧水を利用した施設を設置。自然を生かした取り組みがうかがえました。我が道の駅も、自然を生かしたかわまち駅です。佐久穂町の活性化に期待を寄せるところです。

佐々木 信幸 議員

「アウトドア道の駅」という位置づけは特徴を出すという点ではとても良いと思いますが、八ヶ岳をめざす通過型よりは、町内外の川東エリアも含めた各所での滞在型・体験型の観光スタイルを提案、発信できる基地となってほしいです。
そして中心はやはり食。「おいしい佐久穂の道の駅」として、ここに行かないと手に入らない良いものがある場所として、町内外の人に認知され愛される場所になってほしいです。秋のブルーベリーは定着しましたが、ほかの季節も目玉商品を開発し、佐久穂の魅力が凝縮された品揃えを期待します。南佐久広域といいますが、まずは佐久穂ファーストで良いのではないのでしょうか。
大野市の道の駅立ち上げ当時の施設長の「モンベルはおまけです」という言葉に彼の自負を感じました。

西部 元和 議員

道の駅荒島の郷で、トイレ清掃をされている方からお話を聞きました。どの質問にもハキハキと答えていただきました。その後、研修でも、その点についてお聞きしたところ、人材の育成には注力しているとのことでした。場所や運用システムも大事なことです。やはり一番大事なのはヒトであることづくしだと思います。佐久穂町の道の駅も、関わるすべてのヒトが高い満足度を得られるように、私としては微力ながらつなげる仕事をしたいと考えています。

島崎 規子 議員

新型コロナウイルス第7波も落ち着きをみせた、去る令和4年10月5日～6日におかけ、主に福井県大野市にある「道の駅 越前おおの 荒島の郷」の視察に参加してきました。
管理運営会社の担当者の方に、開駅にかかる準備や開駅後の実績等を熱くお話しいただきました。特に地元の野菜や加工品の生産者による「大野市産直の会」設立や「道の駅 名物づくりプロジェクト」について詳しくお聞きできたことは大きな収穫でした。
町の職員も数名同行し、約2年後に開駅を目指す当町にとって大変参考となる視察先であったと思います。

石井 正行 議員

道の駅「越前おおの 荒島の郷」は、令和8年春に県内区間が全線開通する中部縦貫自動車道のインターチェンジに隣接しており、「道路を降り、大野を周遊してもらう核になる。農産物直売所や観光情報の発信機能もあり、休憩で立ち寄るだけでも地域を知ってもらえる」と、他の観光施設にはない魅力があります。佐久穂町の(仮称)道の駅「八千穂高原IC」よりも規模はかなり大きく、単純な比較はできませんが、今後の佐久穂町の「道の駅計画」に大いに参考にしていこうとすることが必要です。

出浦 修身 議員

- 1. 「荒島の郷」成功要因
イ. 早い時期から産直の会など地域の農業者・事業者の参加育成策を実施し、多数の参加者と商品開発ができたこと
ロ. 大野市役所だけでなくJA、商工会議所、市民団体など多くの団体の協賛・支援体制を構築したこと
ハ. 地域住民の雇用確保を推進したこと
ニ. 早くからPR作戦を推進したこと
等が想定されます。
- 2. 「荒島の郷」の今後の課題
イ. 道の駅の新たな魅力の更新
ロ. 町中への回遊の誘導と町中イベントの開発
- 3. 道の駅KOKOくろべについて
イ. 物販・飲食・直販およびファミリー層の遊び場をバランスよく配置したこと
ロ. 飲食スペースの充実とファミリー層の遊び場確保が集客に繋がっている

高橋 康徳 議員

視察・研修を行った道の駅「越前おおの 荒島の郷」は延伸建設中の中部縦貫道の開通を見越し開設されました。当町建設予定の道の駅の約1.5倍の施設規模を持ちます。
将来的な高速道路延伸・モンベル店舗併設等、共通点も多いですが、圏域人口等の違いから当町施設の未来像としては感じられません。『防災道の駅』としても研修の中では明確に理解できませんでしたが、当町施設における防災機能は大いに期待したいと思います。
明快なコンセプトにおいて運営する指定管理者が必要なことは最重要であり、整備事業の基本協定の締結を受け今後の推移を注視していきたいと思えます。

小宮山 雅則 議員

道の駅は、指定管理契約による直売所やテナントなど全体を総合的に管理運営されていることから、運営能力があり地域を生かしてくれる指定管理者の選定が最も重要であると思えます。この町では開駅より4年も前に指定し町とともに計画準備を進めており、地場産品の直売所への安定を図るため「道の駅産直の会」を設立しています。当町は令和6年に開駅を目指していますので、これから指定管理者の選定となると遅すぎるのではないかと感じ、地域の活性化に結び付くか運営に不安を感じました。
地方創生施設として「モンベル」の店舗を許可されていますが、大手メーカーであり全国に多くの店舗を有していることで営業面の心配はありませんが、販売だけでなく観光ツアーや体験イベントなどにより誘客に繋がる期待ができると受け止めました。

高見澤 春野 議員

視察をして一番思ったのは、道の駅のカギは運営を担う指定管理者(事業者)が握っているということです。事業者(駅長)の腕の見せどころといった感じですが、同時に、明確なビジョンを持つことの重要性です。
わが町の道の駅が地域活性化につながることに期待は大きいものの、心配と不安もつものばかりです。みんながつくって良かったと思える道の駅になること、いろいろな仕掛けをして「常に進化する道の駅」となることを期待しています。



令和4年度佐久穂町議会 常任委員会合同視察研修

令和4年10月5日(水)～10月6日(木)

道の駅 越前おおの 荒島の郷

福井県大野市にあるモンベルショップのある道の駅
(他、福井県立恐竜博物館・富山県道の駅KOKOくろべなど)

大野市からの説明

大野市役所産業建設課 産業ブランド力向上グループ
五十川秀育課長補佐



指定管理事業者からの説明

中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株)
荒島の郷立ち上げ担当 万年正彦氏



産直の会に支えられる直売所



令和4年11月臨時会(11月4日)
発議第5号により

道の駅事業特別委員会を設置

道の駅事業特別委員会 委員長あいさつ 須田 芳明

去る11月4日開催の第9回議会臨時会におきまして、道の駅事業特別委員会の委員長を拝命いたしました。
佐久穂町にとって地域活性化を目指した一大事業が計画されています。道の駅事業は地域の顔として、また、地域の皆さまのよりどころとしてその期待は大きくなっていきます。
私たちが創る事業のすばらしさが後世

に伝えられるよう町民総意の道の駅が誕生することを願っています。
また、議会として、この道の駅の事業を推進するとともに、その方向性をしっかりと見極めながら誠心誠意努めていきたいと思えます。
町民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

- 委員長 須田 芳明
- 副委員長 西部 元和
- 委員 佐々木 信幸
- 委員 島崎 規子
- 委員 小宮山 雅則
- 委員 出浦 修身
- オブザーバー 石井 正行



「町民との意見交換会」を開催しました！

〈議会改革特別委員会報告〉佐久穂町議会



去る11月27日(日)に「佐久穂の未来を語ろう！」をテーマに町民との意見交換会を、生涯学習館花の郷・茂来館において開催しました。受付実人数132名の方々にお越しいただき、元長野県副知事の中島恵理氏による基調講演をお聞きし、またテーマ別分科会

で佐久穂の未来について皆さんと一緒に考えることができました。



開会前セレモニー
佐久穂中学校 吹奏楽部による演奏

開会前には、佐久穂中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏を披露いただきました。出演依頼



にもご快諾いただき、迫力ある演奏で会場の皆さんの心を鷲づかみにしていました。



元長野県副知事
中島恵理氏による基調講演



主催者挨拶

開会にあたり主催者を代表して石井正行議長が挨拶し、大勢の参加者を迎えての町民との意見交換会が開催できることに、深い感謝の意を述べられました。

「みんなで創る佐久穂の未来」をテーマに、中島氏自ら作成した資料により県内外の事例の紹介を織り交ぜながら、傍聴の皆さんが地元佐久穂町の未来を考えるための大きなヒントをいただきました。

C分科会「子どもの未来」

小学生6名、中学生26名、一般20名、議員3名、計55名の参加でした。この分科会では、小中学生は4つのグループに分かれ、20年後の町に欲しいものや、そのためにどうするか等、活発な意見交換ができました。大人グループでは子どもを思う意見が出されたり、子ども議会の開催についての意見なども出されました。



未来の佐久穂の姿 語り合う 町議と町民 三つの分科会で

佐久穂町議会は27日、町民との意見交換会を、町民と語り合いたいと初めて開催。議員12人と町民約100人が、三つの分科会で未来の佐久穂や子どもの未来を語り合った。



町の将来について意見を出し合う生徒

信濃毎日新聞
2022年11月28日朝刊

総括

分科会の後は、各分科会の発表を行いました。
「地方政治の未来 1グループ・「佐久穂の未来」 3グループ・「子どもの未来」 4グループが順番に発表をし、とりわけ小中学生グループの発表には会場の皆さんの関心が伺えました。

また、ご講演をいただいた中島氏には、分科会や各グループの発表をご覧いただいたの「ご講演をいただき、会場からの質問にも丁寧にお答えいただきました。



そして終了後には、たくさんの方よりアンケートを頂戴し、「外部有識者の意見などを柔軟に取り入れられる体制づくりを望みます」や「町民の関心の高さに驚きました。町民参加のまちづくりを継続してほしい」など多くのお声をいただきました。佐久穂町議会では今回いただいた「ご意見なども参考に」議会改革を推進していきます。
今後このような機会を定期的に持たたいと思っておりますので、住民の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

分科会

A分科会「地方政治の未来」

一般10名、議員4名、計14名の参加でした。議会の役割として、政策提言力や行政のチェック機能について語られ、議会サポーター制度への期待や女性・若者の議会参加など、多様な意見が出されました。



B分科会「佐久穂の未来」

一般20名、議員4名、計24名の参加でした。この分科会では、さらに「農業と道の駅」「観光と道の駅」「佐久穂の未来」の3つのグループに分かれ、テーマごとの内容で意見交換を深めることができました。



あなたの声を聞かせて！

広報編集調査特別委員会では、議会改革の活動の一環として議会だよりにハガキを添付することにしました。町民の皆さまと一緒に佐久穂町議会をつくっていくため、ご意見やご要望をお寄せいただきたいと思っております。切り取ってそのまま投函できますので、ぜひご利用ください。

また、従来どおり、議会事務局(0267-86-2556)へお電話いただくか、Eメール(gikai@town.sakuho.nagano.jp)でもご意見・ご要望を受け付けております。町民交流会の依頼などもお気軽にお問い合わせください。

ご意見・ご要望を
自由にご記入ください。

キリトリ

氏名		差出人(必須ではありません)	
連絡先	年代		
連絡先Eメール			

個人情報の取り扱いについて記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、それ以外の用途には利用いたしません。

お邪魔
します。

おでかけ議会です。



議会改革特別委員会に組織された町民交流推進チームが、「町民の皆さんとの交流」を深めるための交流会を実施しています。

今回は、民生児童委員の皆さんとの交流内容をお知らせします。

民生児童委員参加者 40名 参加議員 5名

議員に対する質問アンケートについて回答したのち、8名ずつ5班によるグループワークを行いました。

グループワークの内容として

テーマ1

●民生児童委員の活動で大変だったこと。

テーマ2

●民生児童委員の活動として続けたいこと。

※2つのテーマでグループワークを行いました。

※意見交換ののちグループごとの発表など、大変有意義な意見交換会が開催できました。



◆ 編集後記 ◆

令和5年の干支は「癸卯（みづのとこ）」です。令和に入り何かと忍耐の数年が続いています。この数年間から大きく「飛躍」し、生活が大きく「向上」してほしいものです。

佐久穂町議会では、一層議会改革に取り組み、町民の皆さまに、より開かれた議会となるよう邁進する所存でございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報編集調査特別委員会
副委員長 島崎 規子

【お邪魔します。お出かけ議会です。】
の参加団体を募集します。
グループでの意見交換を希望する方は
議会事務局Tel.86-2556に
お尋ねください。



3月定例会のお知らせ
3月2日(木)～
3月16日(木)を
予定しています。

郵便はがき
キリマシ

3858790

(受取人)
長野県南佐久郡
佐久穂町高野町569

佐久穂町議会事務局 行

料金受取人払郵便

佐久局承認
3004

差出有効期間
2025年1月24日まで
(切手不要)

